

なわて 議会だより

第 133 号

発行 四 條 畷 市 議 会
編集 議会だより編集委員会
電話 072-877-2121(代)

平成19年 第4回定例会

平成18年度

一般会計決算を認定

平成19年第4回定例会は、12月5日から20日までの16日間の会期で開催されました。

この定例会では、第3回定例会において閉会中の継続審査となった平成18年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、市長から提出された平成19年度の一般会計補正予算や印鑑条例の一部改正、寝屋川北部広域下水道組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議、河北養護老人ホーム組合の解散及び解散に伴う財産処分並びに事務の承継に関する協議、災害の発生に伴う土地改良事業の施行に係る応急工事計画及び人事案件等16件と議員



▲出初式(救急救助訓練のようす)

人事案件

▼人権擁護委員

梅田恵子氏の任期が平成20年6月30日付けで満了となることに伴い、その後任として鹿海由利子氏を推薦することに同意しました。

意見書

平成19年第4回定例会において、次の意見書を可決し、関係大臣等に提出しました。

・保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

審議結果一覧

案 件 名	結 果
平成18年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 賛成多数
平成19年度四條畷市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 全会一致
平成19年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
平成19年度四條畷市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
平成19年度四條畷市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
四條畷市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
四條畷市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
四條畷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
四條畷市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
寝屋川北部広域下水道組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議について	全会一致
河北養護老人ホーム組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議について	全会一致
河北養護老人ホーム組合の解散に伴う事務の承継に関する協議について	全会一致
北河内4市リサイクル施設組合規約の変更に関する協議について	賛成多数 可決
災害の発生に伴う土地改良事業の施行に係る応急工事計画について	全会一致 可決
人権擁護委員の推薦について	全会一致 可決
保険でよい歯科医療の実現を求める意見書について	原案可決 全会一致
四條畷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致

● 各議員からの質問の主な項目について、質問順に掲載しています。

一般質問の主な項目



4 土井一憲 議員

1. 土地開発公社の経営健全化について
 - ・行財政改革プランでは、平成23年度までに保有地簿価を5億円減少させるとしているが、具体的な処分計画と市が買い取るための予算計画とは
2. 市民サービスを低下させないための職員の適材適所への配置方法について
 - ・行財政改革プランでは、平成24年4月1日時点の職員数を383人としているが、この2年間の実績から見て実現できると考えているのか
 - ・集中改革プラン通り職員数の削減が進んだ場合、市民へのサービスが低下する恐れがあると考えるがどうか

5 曾田平治 議員

1. 妊産婦健診の公費負担について
 - ・元気な明日の四條畷市をつくるため、市長の英断でさらなる子育て支援の充実を
2. 仮称「四條畷市子ども条例」の制定について
 - ・「いじめ・犯罪・虐待」など、相次ぐ子どもたちの事件が社会問題となっているが、子どもたちの権利・健全な育成などについて条文化すべきと考えるが見解を
3. 仮称「四條畷市寄付条例」の制定について
 - ・自然保護や福祉充実などの政策メニューを示し、全国から募った寄付を、基金に積み立て目標額に達した時に事業化する取り組みを

6 小原達朗 議員

1. 5歳児健診の実施について
 - ・発達障がいや早期発見・早期療養が必要であり5歳児健診を実施すべきと考えるがどうか
2. 発達障がいの教育支援について
 - ・特別支援教育支援員と支援教育のサポート体制の現状は
3. 介護支援ボランティア制度について
 - ・社会参加や地域貢献、健康増進などが図れ、保険料の軽減にもつながる、高齢者自身による「介護ボランティア制度」の導入を
4. 砂地区の大型店舗出店への対策について
 - ・地元商店街との粘り強い対話が必要では
 - ・総合的なプロジェクトチームの設置を

1 扇谷昭 議員

1. 観光協会設立騒動の検証と市の観光行政の再構築について
 - ・9月議会での答弁の修正と陳謝を
 - ・混乱を招いた責任の所在の明確化と対処は
 - ・今後の観光行政の軌道修正とは
2. イオン誘致による財政への影響について
 - ・法人税の増収などのほかに、どのような財政面への影響を想定しているのか
 - ・高齢者などの生活弱者に対する対策は
3. 子ども教室事業の予算・決算の未計上問題について
4. 識字推進指針について

2 長畑浩則 議員

1. 四條畷楠公まつりについて
 - ・何を指し、また数値目標はあるのか
 - ・毎年、繰越金を越える補助金を市は与えているが、その費用対効果は
2. 各種アドバイザーについて
 - ・まちおこしアドバイザーの費用対効果は
 - ・財政アドバイザーの費用対効果は
 - ・スポーツアドバイザーの費用対効果は
3. 2学期制の保護者説明会について
 - ・多くの教職員は、2学期制の方が良いと結論を出しているのか
 - ・保護者の理解が得られた所から2学期制を実施すると言われるが、その判断方法は

3 山本春弘 議員

1. 2学期制について
 - ・教師と保護者の意識改革と相互理解は
 - ・学力向上のための夏休みの過ごし方とは
 - ・子どもの生活環境をどう変えるのか
2. 国道163号「西中野交差点」の信号機について
 - ・右折車のための時間差信号または矢印信号にすることは
3. 寝屋川流域下水道なわて水みらいセンターについて
 - ・当初の上部利用計画の内容は
 - ・上部利用を実現するための今後の対応は

主な議案の概要と 本会議討論

平成18年度一般会計 歳入歳出決算の認定

本決算は、収入済額が161億5114万5000円、支出済額が166億9189万8000円で、翌年度へ繰り越すべき財源が382万5000円あることから、実質収支は、5億4457万円の赤字となりました。

反対

日本共産党市会議員▶忍ヶ丘

た。単年度収支は、1億4806万3000円と5年連続の黒字となったものの、経常収支比率は102・5%、3年度間平均の財政力指数は0・636で、依然として厳しい財政状態となっています。

賛成

市民派改革クラブ▶一般職の給

与見直しなど全職員が一丸となった取り組みを一定評価する。

イオン誘致については、地元

商店街の振興育成のため、協力を求めるなどの知恵を絞り、真剣かつ大胆に進めること、四

賛成

なわて21議員▶実質収支は、

の削減と人件費の縮減を図ったことにより1人あたりの人件費

については、平成17年度から7・

14ポイントも縮減されていることなどから考えて、行政運営に

賛成

市議会公明党▶実質収支は、赤

字であるが、単年度収支では5年連続の黒字となっている。

職員の採用抑制や給与制度の見直しなど人件費を抑える一方、

男女共同参画条例の制定、子育て支援センターの整備などを実現したことは一定評価する。今後、市税の徴収率を上げる

● 一般質問は、12月19日と20日に行われ、9人の議員から一般質問が行われました。

7 渡 辺 裕 議員

1. 公文書の保管方法について

- 公文書の電子化及びシステムによる管理体制は構築されているのか
- 市民の共有財産としての公文書の保管方法には、より一層の工夫を

2. 職員採用試験について

- 採用試験の有無を早期に周知すべきでないか
- 景気に関わらず毎年一定の採用を続けることが大事ではないのか
- 市役所にインターンを受け入れてはどうか
- 全国大学政策フォーラムを開催してはどうか
- 四條畷の命運を握るのは職員であり、それぞれの生産性と想像力ではないのか

8 阿 部 佳 世 議員

1. イオン出店について

- 地元商店街への売上げに及ぼす影響及び市民にとっての商店街の重要性をどう考えるか

2. 母子家庭への支援策について

- 高等技能訓練促進費助成制度の実施を
- 実効性のある母子家庭の自立支援を

3. 生活保護について

- 保護申請は受付窓口で適正に受理されてるか
- 持ち家であっても保護は受けられるのか

4. 少人数学級について

- 平成20年度以降も小学1・2年生の35人学級は継続するのか
- 学力向上は2学期制より少人数学級の実現で

9 岸 田 敦 子 議員

1. イオン出店問題について

- 本市に与える税収見通しは
- イオン出店に伴う社会基盤整備への財政支出の必要性は

2. 奨学金制度の創設について

- 府下27市4町の多くの自治体で奨学金制度を設けているが、なぜ本市にはないのか

3. 仮称「四條畷市生活環境の保全等に関する条例」について

- 募集したパブリックコメントの意見・内容及び件数は
- 迷惑行為の中に、政治活動は入らないと考えてよいのか

4月実施となる後期高齢者医療

制度により、負担の多い高齢者

にはさらに過酷なものとなるこ

とから、国や府に対し改悪を許

さない立場を明確にし、市民の

命や暮らしを守る自治体として

の役割を果たすよう申し述べ、

反対する。

条畷市事務決裁規程に則し、公

用車の管理は真剣に取り組みこ

と、障害者自立支援法のもと、

各施設の運営などが継続できる

ような対応や支援を考えること

、団塊世代の退職期を迎え、若手

職員の登用、人材育成に力を注

ぐことを要望し、賛成する。

ある。

今後、学校給食センターの民

営化や事務事業評価の見直しに

よる職員の適正配置など市民へ

の痛みを極力少ないものにしな

がら、財政健全化を進めること

を要望し、賛成する。

ため、民間委託や徴収事務体制の一本化などを視野に入れ、歳入増を図る工夫をするとともに、子育て支援や福祉施策のさらなる充実、まちの顔である商店街の活性化に取り組むよう要望し、賛成する。

市民連合▶人件費の抑制や手数料等の見直しを行い、約6億円の赤字が解消されたことについては一定評価するが、事務事業評価の見直しによる成果が未だ見えてこないことから、経常費の思い切った改革が必要と考える。財政面では、財政構造の弾力性を回復することが急務であり、企業会計方式により問題点を明らかにし、連結決算手法を導入するよう提案する。

大型店出店に伴い、これまで市民の台所として、また歴史を支えてきた商店街を活性化へ導くよう要望し、賛成する。

印鑑条例の一部改正

受益者負担の適正化を図るため、印鑑登録証の交付について新たに300円の交付手数料を徴収しようとするものです。

反対

日本共産党市会議員団▶本改正は、今まで無料であった印鑑登録証の発行を有料化するもので

ある。

市民の生活は、年金支給額の減額、高額な国民健康保険料等社会保障の切り下げにより大変な状況であり、これ以上の負担を認めることはできない。

証明書の発行の際、手数料を取っていることから、受益者負担になじむのかどうか。せめて再交付時のみ有料にとどめるべきであると申し述べ、反対する。

賛成

市議会公明党▶市民負担増は、でき得る限り抑えるべきであるが、大阪府下における印鑑登録証交付手数料の徴収状況は、大半の自治体が徴収し、徴収していない自治体のほとんどが手数料化を図るべきとの見解である。

また、徴収額においても大半の自治体が300円を設定していること、府下の動向や本市の財政状況から300円の手数料の徴収はやむを得ないと判断し、賛成する。

**北河内4市リサイクル施設組合規約の変更に
関する協議**

北河内4市リサイクルプラザが平成20年2月1日から稼働することに伴い、事務所の位置を移転しようとするものです。

反対

日本共産党市会議員団▶本改正は、平成20年2月に本格稼働するため事務所を移転するものがあり、住民合意のない施設の稼働は認められない。市がやるべきことは、民間の廃プラ施設の影響で健康被害を訴えている住民の声に耳を傾け、実態調査を寝屋川市や大阪府に働きかけることである。自治体の優先すべきことは、住民の健康・安全・環境保全であり、稼働は強行すべきではないと申し述べ、反対する。

賛成

市民連合▶今までのごみ処理は、二酸化炭素を発生させ環境悪化の原因となる焼却と用地確保に問題がある埋め立てが中心であり、容器包装リサイクル法に基づき本施設は当然評価されるものであるが、循環型社会を目指す公の施設が地域住民の生活を脅かすものであってはならないし、行政は住民の不安を解消する責任がある。稼働後も周囲の環境が悪化しないよう監視などを行い、安心して住民が暮らせるよう要望し、賛成する。



議会日誌

11月	6日	会派代表者会議 議会運営委員会	5日	本会議(第4回定例会開会)
	7日	決算特別委員会	6日	総務建水消防常任委員会
	8日	決算特別委員会	7日	教育環境福祉常任委員会
	26日	議会全員協議会	14日	会派代表者会議 議会運営委員会
	28日	会派代表者会議 議員親和会理事會 議会運営委員会	17日	会派代表者会議 議会運営委員会
12月	3日	議会運営委員会	18日	議会だより編集委員会
			19日	本会議
			20日	本会議(第4回定例会閉会) 議会全員協議会

常任委員会行政視察を実施

●総務建水消防常任委員会
(10月1日～2日)

福井県越前市において、行政構造改革プログラムにおける財政見直しなどについて、また、福井県鯖江市では、財政構造改革の具体的な内容について視察しました。

●教育環境福祉常任委員会
(10月18日～19日)

東京都豊島区において、小学生のための放課後対策事業「子どもスキップ事業」を、また、東京都八王子市では、不登校児童・生徒のための高尾学園を視察しました。

議会を傍聴しましょう!

市議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催します。

●**次の定例会**
3月4日から26日の予定です。

**市のホームページで
会議録が
ご覧になれます**

市のホームページの「四條畷市議会」のコーナーから、定例会及び臨時会の本会議の会議録がご覧いただけます。

●**第4回定例会の会議録の掲載は、
2月下旬の予定です。**

●**ホームページアドレス**
<http://www.city.shijonawate.lg.jp/>